

## 「多汗症」



水戸地域医療教育センター

総合病院 水戸協同病院

皮膚科部長 田口 詩路麻 (タグチ シジマ)

林アナウンサー : 林アナ

田口医師 : 田口

林アナ:「先生、暑くなってきましたね。今年も汗ばむ季節となりました。」

田口 :「そうですね。暑くなってきました。皆さん、汗をかくのはいやかもしれませんが、実は身体にとって汗を出すということは非常に大事なことです。ただし、“多汗症”という、通常よりも汗がととも出やすい病気があり、今回ご紹介いたします。」

林アナ:「多汗症ですか。病気については追々伺うとして、先生、そもそも汗の役割は何でしょうか?」

田口 :「はい。汗には重要な役割があります。暑い時に汗が出て、その汗が蒸発する時に身体の表面の熱を奪って、身体を冷やしてくれます。夏に道路に打ち水をするると涼しく感じますよね?他にも、汗には角層の水分を保持したり、皮膚のバリア機能を維持し感染を防いでくれるといった働きもあります。」

林アナ:「では、その汗はどこから出るのでしょうか?」

田口 :「汗は、皮膚にある汗腺というところから出てきます。ちなみに、汗腺にはエクリン汗腺とアポクリン汗腺の2種類あり、ほぼ身体全身にあるエクリン汗腺は、主に体温調節のために汗を出しています。」

林アナ:「なるほど。では、先生がおっしゃっていた多汗症という病気ですが、汗っかきとの違いは何でしょうか。」

田口 :「暑さだけでなく、緊張や興奮、またこれらに関係なく発汗が起こり、大量の汗が日常生活に支障をきたす状態を多汗症といいます。日常生活に支障があるというのがポイントで、この点が単なる“汗っかき”とは異なります。」

林アナ：「そんな病気があるのですね。多汗症の人は実際どのくらいいるのでしょうか？」

田口：「日本人の場合だと、8人ぐらいに1人が原発性局所多汗症であるというデータがあります。」

林アナ：「原発性局所多汗症ですか。なんだか難しそうな病名ですね。多汗症には種類があるということですか？」

田口：「はい。多汗症の中でも特に原因のないものが原発性多汗症といますが、さらに発汗部位が局所性のものと全身性のものに分けられます。」

林アナ：「そうすると、脇や手のひらなど、部分的に汗が出る場合も多汗症かもしれないということですか？」

田口：「その通りです。多汗症の発症は脇が最も多く、次いで手のひらが多いです。」

林アナ：「そうですか。学生や働き盛りの方に多いとなると、勉強や仕事にも影響が出てきますよね。」

田口：「そうです。学生だと、例えば脇汗やにおいの不快感で授業に集中できない、挙手ができないとか。仕事だと、人と会う機会が多い営業や美容師、ピアノの演奏者、精密機器を扱う仕事などといった業種で汗の影響が考えられます。他にも、脇汗だと汗染みへの周囲の目が気になり、好きな色の洋服が着られない。手汗だと握手ができないというような日常生活への支障が起こっています。」

林アナ：「他にも悪影響を及ぼすことはございますか？」

田口：「はい、多汗症と健康な方の労働生産性を比較したところ、多汗症の方の生産性は健康な方の半分しかなかったという驚くべきデータがあります。さらに、多汗症の方のうつ病の有病率がそうでない方よりも有意に高かったというデータもあります。このように、多汗症の方には、周りの人が想像する以上にいろいろと深い悩みがあるようです。」

林アナ：「驚きました。多汗症が深刻な病気だと分かりましたが、治療はできるものなのでしょうか？」

田口：「はい。病院やクリニックで治療することができますので、汗でお悩みの方は、決して一人で悩まず、ぜひ医療機関へ相談していただきたいです。」

林アナ：「診療は皮膚科でよろしいですか？」

田口：「はい。他にも形成外科や内科など他の科でも治療を行っていますが、念のため伺う前に多汗症の治療ができるか問い合わせるとよいでしょう。」

林アナ：「わかりました。ところで、多汗症は完治するものなのでしょうか？」

田口：「残念ながら完治は難しいのですが、ほとんど症状が気にならない状態にすることはできますので、病気に向き合って根気よく治療していくことが大切です。」

林アナ：「では、どのような症状があれば、医療機関を受診すべきでしょうか？」

田口：「汗で日常生活に支障があると感じていれば、医療機関を受診しましょう。参考までに 局所の過剰な発汗が 明らかな原因がないまま 6 ヶ月以上認められ、①発症が 25 歳以下、②左右対称性、1 週間に 1 回以上多汗のエピソードがある、日常生活に支障をきたす、などがあれば原発性多汗症の可能性がります。」

林アナ：「では、医療機関で行っている治療法について教えてください。」

田口：「はい。薬物治療や手術の他、レーザーや高周波療法、精神療法などといったものもあります。患者さんの症状の程度やライフスタイル、費用なども考慮し、その方に合った治療法を医師と一緒に考えます。」

林アナ：「薬物治療について具体的に教えてください。」

田口：「お薬には、飲み薬、塗り薬、A 型ボツリヌス毒素の注射などがあります。脇汗に関しては昨年末、新しい塗り薬が発売されました。」

林アナ：「注射ですか。痛そうですね。」

田口：「極細の注射針を用いた皮内注射で、注射の痛みを軽減するために注射部位をあらかじめアイスノンなどで冷却しますので、それほど痛みは感じないと思います。ただ、注射は全ての医療機関でもできるわけではありませんので、希望する方は注射できるかどうか予め確認してください。」

林アナ：「塗り薬というのは？」

田口：「塩化アルミニウムにより汗腺の出口を塞ぎ、汗を止めます。新薬というのは、ソフピロニウム臭化物というお薬で、脳から伝達される汗を出せという命令をブロックする、抗コリン作用の働きのあるお薬です。1 日 1 回入浴後に両脇に外用し、効果を示します。」

林アナ：「脇以外には使えないのですか？」

田口：「そうです。正確には、原発性腋窩多汗症といって原因がわからない脇の多汗症と診断された方が使うお薬です。」

林アナ：「脳からの命令をブロックするのですね。副作用についてはいかがでしょうか？」

田口：「外用薬の、主な副作用は皮膚炎です。」

林アナ：「先生、これらの外用薬はワキガには効かないのでしょうか？」

田口 : 「現時点でワキガに効くというデータは今のところありません。しかし発汗が抑えられることで、汗に起因するにおいは抑えられると思います。」

林アナ : 「ところで、このお薬はずっと使い続けないといけないのでしょうか？」

田口 : 「そうです。良い状態を保つために、根気よく使い続ける必要があります。」

林アナ : 「手術についてはいかがでしょうか。」

田口 : 「手術は、薬で対処できない場合の選択肢になると思います。胸腔鏡という、内視鏡を使用して、交感神経節を焼灼します。代償性発汗といって、汗を止めたい部位とは別の場所で発汗が多くなってしまうこともあります。そういったデメリットがあることも理解しておかねばなりません。」

林アナ : 「確かに、メリットだけでなくデメリットもきちんと理解しておくことは大事です。ところで、脇汗など多汗症の治療を行っている医療機関が簡単に調べられる方法はないのでしょうか？」

田口 : 「“ワキ汗治療ナビ”というサイトで、お住まいの近くで多汗症治療を行っている医療機関を検索することが可能のようです。脇汗で悩んでいる方は検索してみてください。また、お知り合いに脇汗で悩んでいる方がいましたら、教えてあげてください。」

林アナ : 「皆さん、“ワキ汗治療ナビ”だそうですね。検索してみてください。では、多汗症治療における課題は何かございますか？」

田口 : 「真っ先に挙げられるのは、多汗症で悩まれている方の医療機関の受診率の低さです。」

林アナ : 「受診率が低い原因は何でしょうか？」

田口 : 「多汗症が、病気とは思われていない、医療機関で治療できることが知られていないということが主な理由になるかもしれません。そのため、信頼性に欠けるものも少なくないインターネット上の情報を頼りに、多汗症に対する有効性や安全性が不明確な市販のデオドラント剤や外国の制汗剤を購入して試している方も多いのが現状です。」

林アナ : 「では、多汗症の方の受診率を上げるにはどうしたらよろしいのでしょうか？」

田口 : 「そうですね。方法は幾つかあると思いますが、まずは多汗症という病気をきちんと理解してもらうことだと思います。こういったラジオ企画などを通じて、我々医師など専門家が正しい情報を発信し、病気について啓発していくことはたいへん意義あることだと考えています。」

林アナ : 「では、情報を受けとる側の汗で悩む方が留意すべきことは何でしょうか？」

田口 : 「今は、どこにいてもインターネットなどで様々な情報を集めることはできますが、その情報が全て正しいとは限りません。ですので、一人で悩むとか、何でも自分で解決しようとしなないことをお願い

いしたいです。」

林アナ：「先生、最後に多汗症に苦しむ方々へメッセージをお願いします。」

田口：「はい。たかが汗、病気であったとしても命にかかわるものではないので大丈夫と決して思わないでください。鬱になるぐらいものすごく悩んでいる方もたくさんおられます。この放送で、“汗の悩みは医療機関で解決できる”ということを知っていただけたと思いますので、ぜひそれを心にとめていただいて、汗で悩んでいる方は、まずは医療機関を受診してください。また、汗で悩んでいるお友達やお知り合いが周りにいましたら、ぜひ受診を勧めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。」

林アナ：「田口先生、たいへん勉強になりました。ありがとうございました。」